

尾島典孝教授退任記念号に寄せて

尾島典孝教授は、東海大学、明治学院大学、芝浦工業大学、大東文化大学で教鞭をとられた後、1969年4月に東洋大学工学部に専任講師として奉職されました。その後、2000年4月より経営学部に移られ、昨年度末まで36年間（経営学部では5年間）の長きに渡って東洋大学ならびに経営学部のために尽力されました。この間、文化間コミュニケーション分野（英語関連科目）を主に担当されました。

とくに経営学部・マーケティング学科（商学科を改称）に所属されてからは、商学インターネット英語・商学実用英語教育に積極的に関わって下さいました。尾島先生は、本来のご専門のイギリス中世から17世紀にかけての演劇とりわけシェイクスピア研究分野に留まらず、経営学分野といった新しい学問領域にも積極果敢に挑戦され、インターネットを利用した研究や実践が有力な手段であることに着目し、経営学部において新しい境地を切り開かれました。それは先生ご担当の演習（ゼミナール）の運営に見て取れます。

まず2年生対象の基礎演習では、インターネットを利用し、マーケティング関連の書籍・文献の検索という初歩からスタートし、論文の実際の書き方や表現法の修得、発表や討論の仕方を指導されました。次いで3・4年生対象の演習では実際にインターネットを利用して論文を作成させ、卒業論文として完成させる一連のプロセスを確立させました。

ややもすると自らの専門分野に閉じこもりがちな研究者の中であって、異なる環境に自ら積極的に溶け込み、独創的かつ斬新的なアイデアを発信し具現化した尾島先生のバイタリティー溢れる研究者魂には感服する次第です。

先生のご退任の時期に、学部長の職にあるということで、ご挨拶を申し上げることになり、先生のお人柄、研究業績、大学への貢献度について十分に理解していない点も多々あると推察致しますが、ご寛容の程お願いします。

先生の今後のご健康とご多幸を心よりお祈り致します。

2005年11月30日

経営学部長 幸 田 浩 文